

キャッシュレス決済について

○これまでの経緯

恵庭市では、水道料金等の支払いについて、キャッシュレス決済を導入していなかったところですが、国の動向や、市民・議会からもキャッシュレス決済の導入について、一定数のご要望をいただいていたことから、昨年度、これらを踏まえてキャッシュレス決済の導入について、今後の方向性を検討するための市民アンケートを実施しました。

その結果、今後望まれるサービスについて、費用対効果に見合わないサービスは増やすべきではないという回答が56%と多くありましたが、一方でクレジットカードやLINE Payなどのキャッシュレス決済の充実を望まれている回答が20%ありました。

このことを踏まえ、恵庭市公営企業経営審議会において検討した結果、導入コストがかからず、ランニングコストも比較的安価なキャッシュレスサービスとして3種類のバーコード決済を、令和2年4月より導入し、支払い方法の多様化により利便性の向上を図っていくこととしました。

今回はその導入状況と現状の分析について下記の通り、ご報告いたします。

○今年度の納付書における収納状況について

	4月分	5月分	6月分	7月分
コンビニ収納	2954件	3447件	3372件	2961件
PayPay利用者	28件	28件	78件	36件
LINEPay利用者	4件	5件	19件	10件
PayB利用者	0件	0件	1件	0件
口座振替から納付書払いへの移行人数	6名	4名	4名	4名

○状況の分析

■バーコード決済導入後の口座振替利用率の推移

- ・口座振替から納付書払いへの移行人数は3カ月とも1桁であり、低推移である。

■収納率への影響

- ・ほとんどが納付書払いからバーコード決済への移行のため、収納率への影響は低い。

○今後の方針

■バーコード決済について

- ・PayPay、LINEPay、PayBIについては、今後も収納状況を観察する。
- ・その他のバーコード決済については、収納代行業者の契約状況を見て、随時検討する。

■クレジットカード決済の導入について

【課題①】 手数料負担のあり方

【課題②】 収納代行業者の撤退により、業者によるメリットや金額の比較が困難